

# 都市地域における産業転換

## — 米英イノベーション先進地域のエコシステム —

### Industry Change in Urban Region: Ecosystems in Innovative Region in the US and UK

米国は、シリコンバレーのみならず、産業転換を連鎖的に果たした優等生都市を有している。シアトルは、ソフトウェア産業のエコシステムを構築した後に、インタラクティブ・メディア産業、航空宇宙産業、バイオテクノロジー産業に波及していった。オースティンは、コンピュータと半導体産業の興隆によって、中部のハイテク都市として名前を轟かせた。一方、英国を代表する大学城下町であるケンブリッジは、コンピュータ、IT、そしてバイオテクノロジーのグローバル企業を輩出してきた。3つの地域のエコシステムを理解し、起業家、投資家、大企業、大学等の役割と連携について議論する。

#### プログラム ※日本語・英語同時通訳付き

《総合司会》<sup>まつもと あつのり</sup> 松本 敦則(法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科准教授)

■13:00~13:35 【問題提起】**米英3都市—シリコンバレーとは異なるエコシステムに学ぶ**

<sup>たじのりこ</sup> 田路 則子(法政大学経営学部教授、イノベーション・マネジメント研究センター所長)

■13:35~14:20 【講演 ①】**英国ケンブリッジ—ハイテク・クラスターにおける技術コンサルタントの役割**

<sup>ジョセリン プロバート</sup> Jocelyn Probert氏(ケンブリッジ大学教授、同大学経営研究センターシニアリサーチフェロー)

■14:20~15:05 【講演 ②】**米国オースティン—クラスター形成におけるスピノフと学びあう地域**

<sup>ふくしま みち</sup> 福嶋 路氏(東北大学大学院経済学研究科教授)

〈休憩〉

■15:20~16:05 【講演 ③】**米国シアトル—ソフトウェア産業エコシステムの新展開**

<sup>やまがた ひろゆき</sup> 山縣 宏之氏(立教大学経済学部准教授)

■16:05~17:35 【パネルディスカッション】

《司会》田路 則子、松本 敦則

《パネリスト》Ana Colovic氏(ネオマビジネススクール准教授)、Gabi dei Ottati氏(フィレンツェ大学教授)、Jocelyn Probert氏、福嶋 路氏、山縣 宏之氏

■17:35~17:40 【閉会挨拶】田路 則子

主催：法政大学イノベーション・マネジメント研究センター

後援：日本ベンチャー学会 法政大学経営学部 法政大学地域研究センター

**日時** 2014年 2月1日(土) 13:00~17:40 (開場12:30)

**会場** 法政大学市ヶ谷キャンパス ポアソナード・タワー26階 スカイホール

**参加費** 無料

**定員** 先着150名(定員に達し次第締切)

**申込方法** ■ 下記専用サイトよりお申込みください。

【パソコン】  
<https://www.event-u.jp/fm/10355>

【携帯電話・スマートフォン】  
<https://www.event-u.jp/fm/m10355>

※個人情報の扱いは厳重に管理しております。法政大学に関連するイベント開催等の通知を目的としており、それ以外の目的では使用していません。

**申込締切** 1月30日(木)

**その他** お車でのご来場はご遠慮ください。

※ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

法政大学市ヶ谷キャンパス案内図



法政大学市ヶ谷キャンパス(富士見校地)ポアソナード・タワー26階スカイホール

法政大学イノベーション・マネジメント研究センター



〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1  
TEL: 03(3264)9420 FAX: 03(3264)4690  
URL: <http://www.hosei.ac.jp/fujimi/riim>  
E-mail: [cbir@adm.hosei.ac.jp](mailto:cbir@adm.hosei.ac.jp)

2014年1月29日版

## プロフィール (敬称略)

ジョセリン プロバート

### Jocelyn Probert (ケンブリッジ大学教授、同大学経営研究センターシニアリサーチフェロー)

■ケンブリッジ大学ジャッジビジネススクール博士課程修了（経営学博士）。2006年バーミンガムビジネススクール准教授、後に現職。同志社大学、上海大学の客員研究員の経験も持つ。専門は、イノベーション経営、ハイテク・スタートアップの成長、産学連携、イノベーションエコシステム。ケンブリッジのエコシステムおよび英国の産業に詳しく、多くの学術および政策研究プログラムに参画してきた。日本に長期滞在し、著作も発表している。

ふくしま みち

### 福嶋 路 (東北大学大学院経済学研究科教授)

■一橋大学大学院商学研究科博士課程単位修得退学（経営学博士）。1997年から東北大学大学院経済学研究科准教授、2000年から2002年までテキサス大学IC2&マコム・スクール・オブ・ビジネス客員研究員を経て現職。専門は地域企業論、クラスター、イノベーション。資源が乏しい地域や困窮する地域が、いかに知恵を絞って自らの道を切り開いていったのかにとっても関心がある。現在は被災と企業家的活動について、東北を主なフィールドとして研究をしている。

やまがた ひろゆき

### 山縣 宏之 (立教大学経済学部准教授)

■京都大学大学院経済学研究科博士課程修了（経済学博士）。2003年米国ワシントン大学訪問研究員、2004年から2008年まで九州国際大学経済学部専任講師・准教授を経て現職。専門はアメリカ経済論（産業政策論）、地域産業論、産業集積、産業エコシステム。先進国が経済的な停滞を乗り越えるために、産業づくりの面でどのような取り組みを行ってきたのか。地域や都市における動向を踏まえつつ、主としてアメリカの到達点と課題を研究している。

たじ のりこ

### 田路 則子 (法政大学経営学部教授、イノベーション・マネジメント研究センター所長)

■神戸大学大学院経営学研究科博士課程修了（経営学博士）。政府系金融機関、IT企業等勤務の後、学術に転向し、2006年法政大学経営学部准教授、2008年教授。専門は、イノベーションマネジメント、ハイテク・スタートアップの戦略、アントレプレヌールシップ。ハイテク・スタートアップの成長プロセスを資源調達と大企業のアライアンスから調査している。シリコンバレー、ケンブリッジ、台湾新竹を中心に、最近はスウェーデンも対象としている。